<u>2022年11月 アサヒグループ販売動向</u>

アサヒグループホールディングス株式会社 IR部門

■アサヒビール

【カテゴリー別売上金額前年比(%)】

t
比
2
3
-
2
)
2 3 5 - 2

<ビール類ブランド別販売数量・前年比(%)>

	11	月	累計		
	万箱	前年比	万箱	前年比	
スーパードライ	534	93	6,006	116	
スタイルフリー	96	95	1,122	101	
クリアアサヒ	113	91	1,290	93	

※1箱=633ml(大びん)×20本換算

<トピックス>

- ・ビール類の売上金額は前年比93%となった。10月からの価格改定前の駆け込み需要の反動による影響が一部残った。9-11月
- 累計では前年比105%となった。
 ・フルリニューアルした『アサヒスーパードライ』の販売数量は、前年比93%となった。9-11月累計では前年比111%となった。
 ・『アサヒ生ビール(通称マルエフ)』の販売数量は1-11月累計で547万箱となった。『アサヒ生ビール黒生』の販売数量は1-11月累 計で168万箱となった。
 ・『アサヒスタイルフリー<生>』の販売数量は前年比95%、9-11月累計では前年比97%となった。
 ・『クリアアサヒ』の販売数量は前年比91%、9-11月累計では前年比94%となった。

■アサヒ飲料

【ブランド別販売数量前年比(%)】

【フラフト かり放りじ数量的子	11月 累計			
	前年比	前年比		
三ツ矢	82	99		
カルピス	99	106		
ワンダ	85	91		
十六茶	80	97		
おいしい水	105	109		
ウィルキンソン	102	107		
重点6ブランド計	91	101		
アサヒ飲料計	98	103		

<トピックス>

- ・アサヒ飲料計の販売数量は前年比98%となった。10月の価格改定前の駆け込み需要の反動による影響が一部残った。9-11月累計では前年比102%となった
- 11月累計では前年比102%となった。
 ・「三ツ矢」は前年比82%となった。「クラフト」シリーズや「特濃」シリーズは堅調に推移した。
 ・「カルピス」は前年比99%となった。11月15日発売の『カル
- ピスソーダ ジンジャーエール』が寄与した「カルピスソーダ」は、 前年比103%となった。 ・「ウィルキンソン」は前年比102%となった。業務用商品が好
- 調だった。
- ・「おいしい水」は前年比105%となった。11月1日に発売した
- 「おいしい水」は削牛は103%となった。11月1日に先売した「おいしい水天然水 白湯」が好調だった。 ・ECサイトを中心に展開しているラベルレス商品は、1-11月の累計販売数量が前年比154%の630万箱となり、上方修正した年間販売目標の600万箱を突破した。

■アサヒグループ食品

【ブランド別売上金額前年比(%)】

	11月	累計	
	前年比前年比		
ミンティア	109	102	
1本満足バー	107	103	
アマノフーズ(みそ汁)	98	103	
ディアナチュラ	79	105	
和光堂(ベビーフード)	105	112	
バランス献立・バランス献立 PLUS(シニア向け食品)	101	106	
アサヒグループ食品計	101	102	

<トピックス>

- <トピックス>
 ・アサヒグループ食品計の売上金額は前年比101%となった。・「ミンティア」は前年比109%となった。11月7日発売の「ミンティアブリーズ」コンテンツコラボパッケージ商品と、12月5日発売の『ミンティアブリーズ 濃苺』が寄与した。・「1本満足バー」は前年比107%となった。10月11日発売の『1本満足バーシリアル苺」、11月14日発売の『1本満足バー プロテイン・ラン ベイクドホワイトミルク』が寄与した。・「アマノフーズ(みそ汁)」は前年比98%となった。主力の「いつものおみそ汁」の多食形態(5食入りや10食入りの商品)は堅調だったが、通販で価格改定前の駆け込み需要の反動による
- 調だったが、通販で価格改定前の駆け込み需要の反動による 影響が一部残った。 ・「ディアナチュラ」は11月からの価格改定前の駆け込み需要の を動したると響さまり、前年は70%となった。
- ・「ディアナチュラ」は11月からの価格改定前の駆け込み需要の反動による影響もあり、前年比79%となった。
 ・「和光堂(ベビーフード)」は前年比105%となった。パウチタイプの「グーグーキッチン」シリーズとジュレタイプ飲料の「1歳からのMYジュレドリンク」が引き続き伸長した。
 ・「バランス献立(シニア向け食品)」は前年比101%となった。
 パウチタイプのやわらか食が伸長した。

アサヒ飲料(株) 2022年11月実績

	11 月					
主要カテゴリー	2022 年		2021年	2022 年		2021 年
(主要ブランド等)	箱数	前年比	箱数	箱数	前年比	箱数
	(千箱)	(%)	(千箱)	(千箱)	(%)	(千箱)
炭酸	5, 530	95%	5, 820	76, 420	103%	74, 050
三ツ矢	2, 250	82%	2, 740	38, 030	99%	38, 550
ウィルキンソン	2, 520	102%	2, 480	30, 320	107%	28, 340
乳性	2, 880	101%	2, 840	41, 170	106%	38, 910
カルピス ストレート	2, 130	100%	2, 130	31, 380	107%	29, 400
カルピス コンク	230	89%	260	4, 110	101%	4, 080
コーヒー	2, 780	88%	3, 170	29, 580	93%	31, 880
ワンダ	2, 570	85%	3, 010	27, 420	91%	30, 020
お茶	2, 810	98%	2, 870	36, 250	107%	33, 940
十六茶	1, 300	80%	1, 610	19, 850	97%	20, 440
ミネラルウォーター	1, 250	105%	1, 190	15, 530	109%	14, 300
おいしい水	1, 250	105%	1, 190	15, 530	109%	14, 300
果汁	1, 330	110%	1, 210	14, 210	109%	13, 090
バヤリース	480	95%	510	6, 840	110%	6, 220
ウェルチ	470	116%	410	5, 310	116%	4, 590
総合計	18, 770	98%	19, 220	236, 990	103%	229, 490
<補足>						
『健康飲料』計	490	111%	440	5, 400	105%	5, 160

稼働日 23日(昨年は23日)

以 上